

横須賀市国民健康保険 第3期データヘルス計画 【概要版】

令和6年3月

横須賀市民生局健康部健康管理支援課

◎経緯

「日本再興戦略」（平成25年6月閣議決定）では、その重要な柱として「国民の健康寿命の延伸」が掲げられ、レセプト等のデータの分析に基づく事業計画の作成が市町村国保に求められました。

「第2期データヘルス計画」（平成30年度～令和5年度）の計画期間終了に伴い、この度「第3期データヘルス計画」を策定しました。

◎目的

横須賀市国民健康保険被保険者の「健康の保持増進」を目指すとともに「医療費適正化」を実現する。

◎計画期間

令和6年度（2024年度）から令和11年度（2029年度）までの6年間。

1 人口と国民健康保険被保険者の特徴

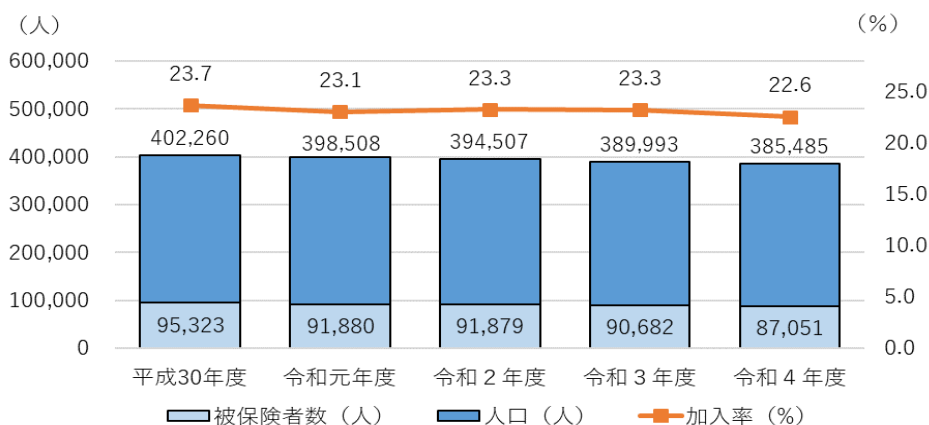
横須賀市（以下、「本市」とする）の令和5年4月1日時点の人口は385,485人で、そのうち125,227人（32.5%）が65歳以上です。国民健康保険（以下、「国保」とする）の被保険者の高齢化率は43.5%です。

		人数	割合
人口構成	総人口	385,485	100.0%
	再掲 65歳以上(高齢化率)	125,227	32.5%
国保	国保被保険者数と加入率	87,051	22.6%
	再掲 65歳以上(高齢化率)	37,893	43.5%

出典：横須賀市の人口-住民基本台帳（令和5年4月1日時点）横須賀市の国保被保険者-KDB 人口及び国保被保険者の状況

2 人口・国保被保険者・国保加入率の推移

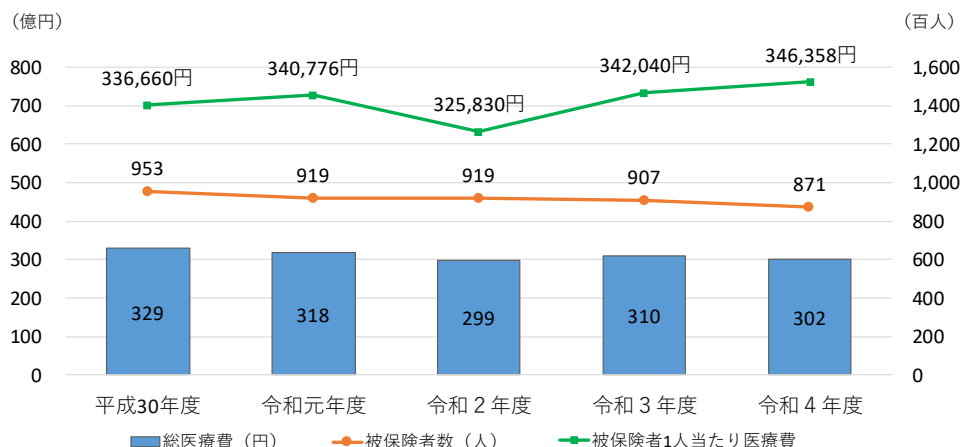
平成30年度以降、人口と国保被保険者数、国保加入率は減少傾向にあり、令和4年度の国保被保険者数は87,051人、国保加入率は22.6%です。



出典：人口-住民基本台帳（令和5年4月1日時点）国保被保険者-KDB 人口及び国保被保険者の状況

3 総医療費と国保被保険者数、国保被保険者1人当たり医療費の推移

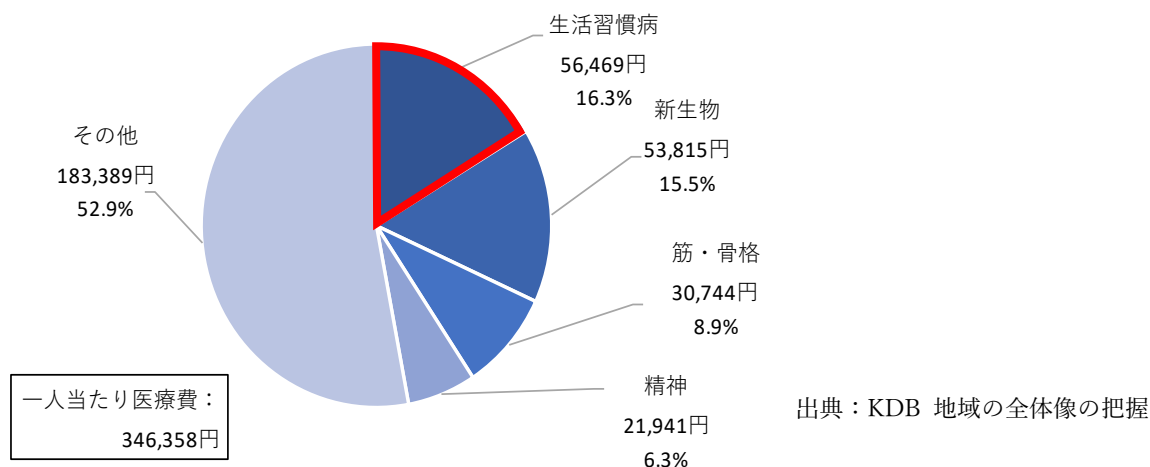
平成30年度以降、総医療費と国保被保険者数ともに減少傾向にあり、令和4年度の総医療費は302億円となっています。国保被保険者1人当たり医療費は令和2年度に減少し、令和3年度より再び増加に転じています。令和4年度は346,358円となっています。



出典：KDB 地域の全体像の把握

4 1人当たり医療費に占める生活習慣病の医療費の割合

令和4年度の1人当たり医療費（346,358円）のうち、生活習慣病医療費は56,469円となっています。



5 高額レセプトの疾病傾向（上位10疾病の高額レセプト件数と合計医療費）

1件当たり30万円以上のレセプトを高額レセプトと定義したものが下記の表です。令和4年度の高額レセプトは、全レセプト件数の2.5%ですが、その医療費を合計すると総医療費の60.4%を占めています。

順位	中分類名	全体		高額レセプト		高額レセプト割合	
		医療費 (千円)	レセプト件数	医療費 (千円)	レセプト件数	医療費	レセプト
1	腎不全	1,680,873	6,373	1,552,708	3,972	92.4%	62.3%
2	その他の悪性新生物<腫瘍> (前立腺がん、卵巣がん等)	1,334,182	8,468	1,049,028	1,196	78.6%	14.1%
3	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	1,152,809	15,433	918,522	1,847	79.7%	12.0%
4	その他の心疾患	953,649	9,554	787,393	453	82.6%	4.7%
5	虚血性心疾患	700,641	7,292	579,710	545	82.7%	7.5%
6	骨折	609,111	8,249	472,640	493	77.6%	6.0%
7	その他の消化器系の疾患	691,977	16,772	433,123	551	62.6%	3.3%
8	脳梗塞	508,379	6,041	424,295	454	83.5%	7.5%
9	脳内出血	448,946	1,807	414,265	427	92.3%	23.6%
10	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	530,920	2,899	411,567	456	77.5%	15.7%
上位10疾病以外		15,033,750	695,225	7,238,124	8,819	48.1%	1.3%
合計		23,645,237	778,113	14,281,375	19,213	60.4%	2.5%

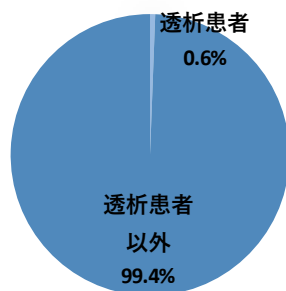
出典：レセプトデータ(医科)

6 人工透析患者の患者数割合と医療費割合

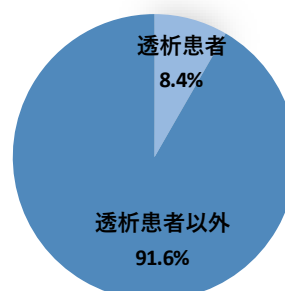
令和4年度の国保被保険者のうち、レセプトがある人は、78,424人で、そのうち人工透析患者は466人(0.6%)ですが、人工透析患者にかかる医療費は、総医療費の8.4%を占めており、本市の医療費に大きな影響があることが分かります。

	患者数(人)	レセプト件数(件)	合計医療費(千円)	患者一人当たり医療費(千円)
透析患者	466	16,799	2,565,554	5,505
透析患者以外	77,958	1,358,678	28,059,448	360

患者数割合



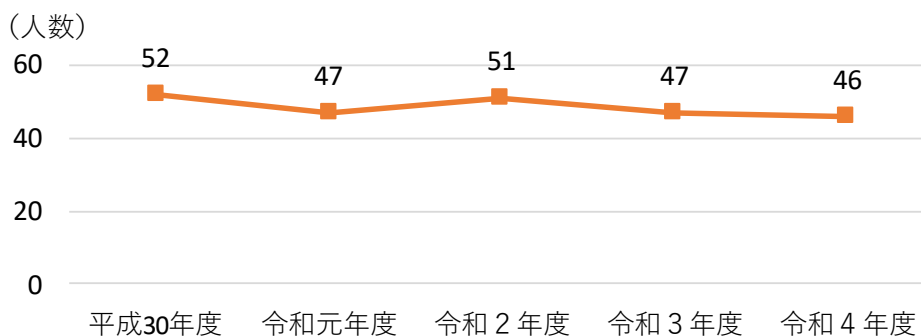
医療費割合



出典：レセプトデータ
(医科、調剤)

7 新規人工透析導入者数の推移

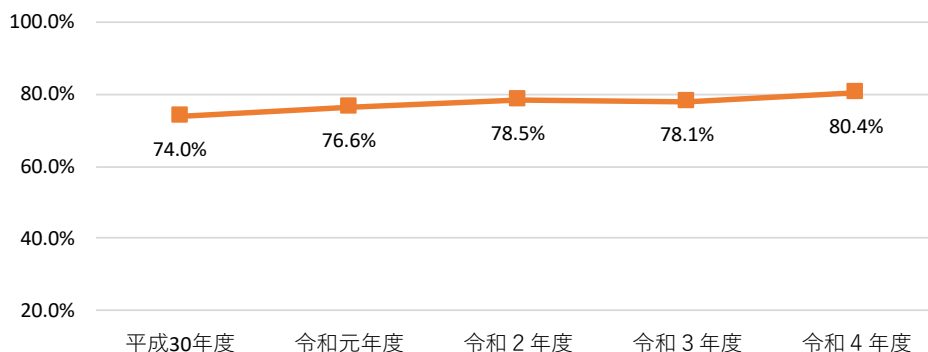
新規人工透析導入者数は、平成30年度から増減はありますが、全体としては横ばいで推移しており、令和4年度では46人となっています。



出典：横須賀市データ

8 ジェネリック医薬品使用率の推移

ジェネリック医薬品の使用率は増加傾向にあり、令和4年度では80.4%です。国の目標値である80%を超えています。

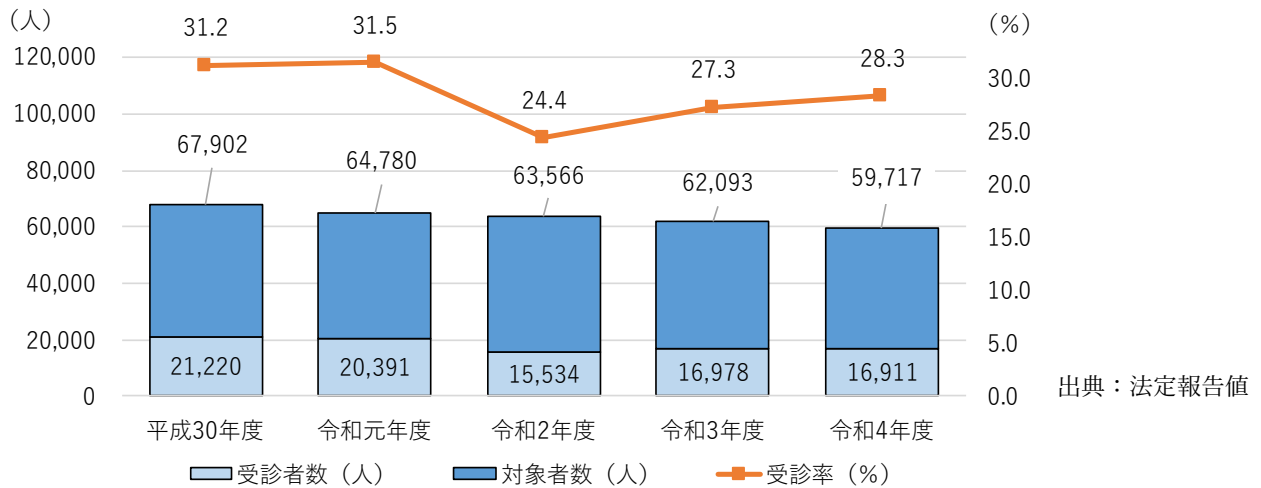


出典：国保総合システム
数量シェア集計表
(医科、調剤)

9 特定健診受診者数と健診受診率の推移

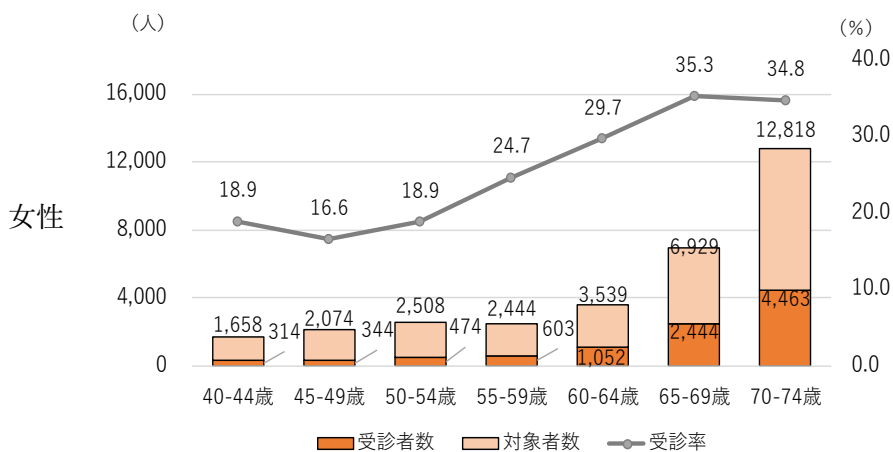
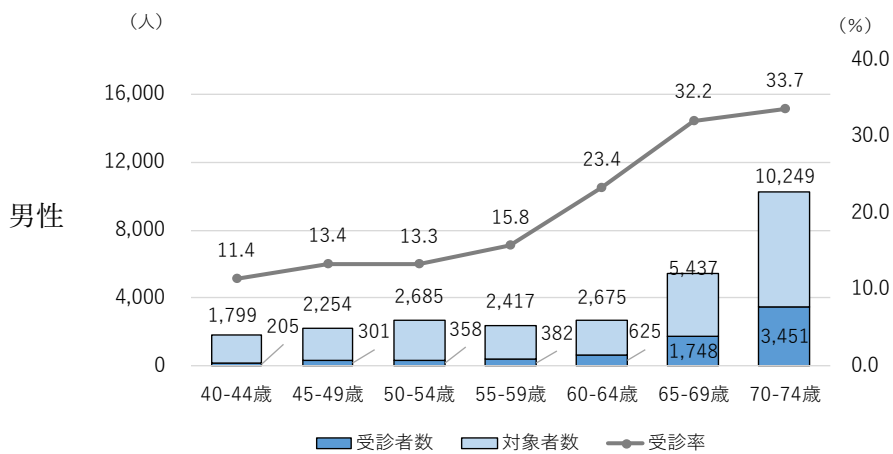
特定健診受診者数、特定健診対象者数はともに平成30年度以降減少傾向にあり、令和4年度の特定健診受診者数は16,911人、特定健診対象者数は59,717人となっています。

特定健診受診率は平成30年度から令和元年度にかけて増加傾向にありましたが、令和2年度に7.1ポイント落ち込んでいます。令和3年度以降再び増加に転じています。



10 特定健診受診率の性・年齢階層別比較

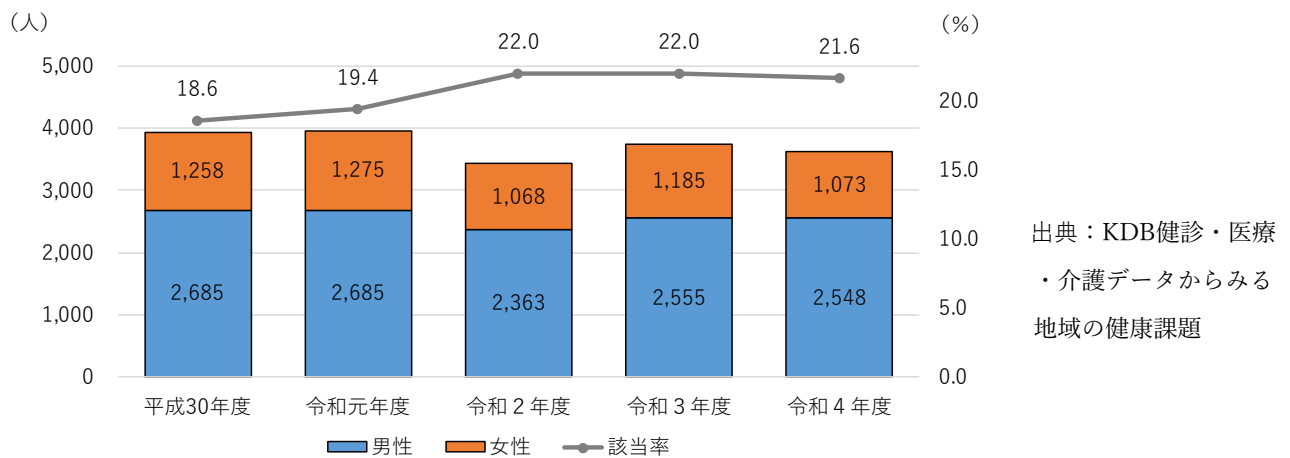
特定健診の受診率は男女ともに年齢が上昇するにつれて増加傾向にあり、全ての年代において、女性の受診率が男性の受診率を上回っています。



出典：KDB健診・医療
・介護データからみる
地域の健康課題

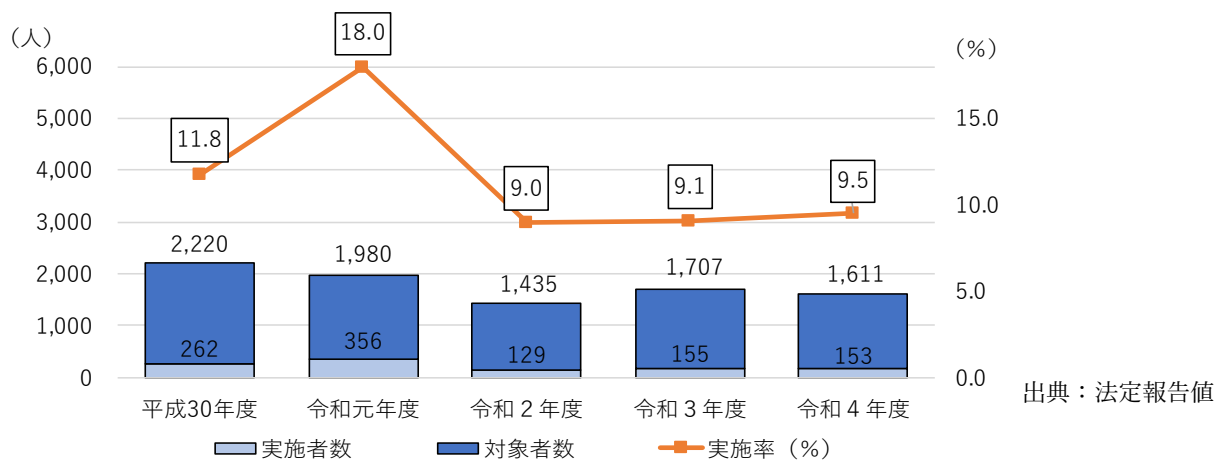
11 性別メタボリックシンドローム該当者数の推移

男女ともにメタボリックシンドローム該当者は、平成30年度から令和2年度にかけて増加傾向でしたが、令和2年度以降は、横ばいで推移しています。



12 特定保健指導実施数・実施率の推移

特定保健指導実施率は、過去5年で令和元年度は18.0%と最も高くなっていますが、令和2年度以降については、10%を下回っている状況です。



13 動機付け支援・積極的支援実績

令和4年度の「動機付け支援」の実施率は10.1%、「積極的支援」の実施率は6.8%となっています。

	対象者	実施者	実施率
動機付け支援	1,303	132	10.1%
積極的支援	308	21	6.8%
計	1,611	153	9.5%

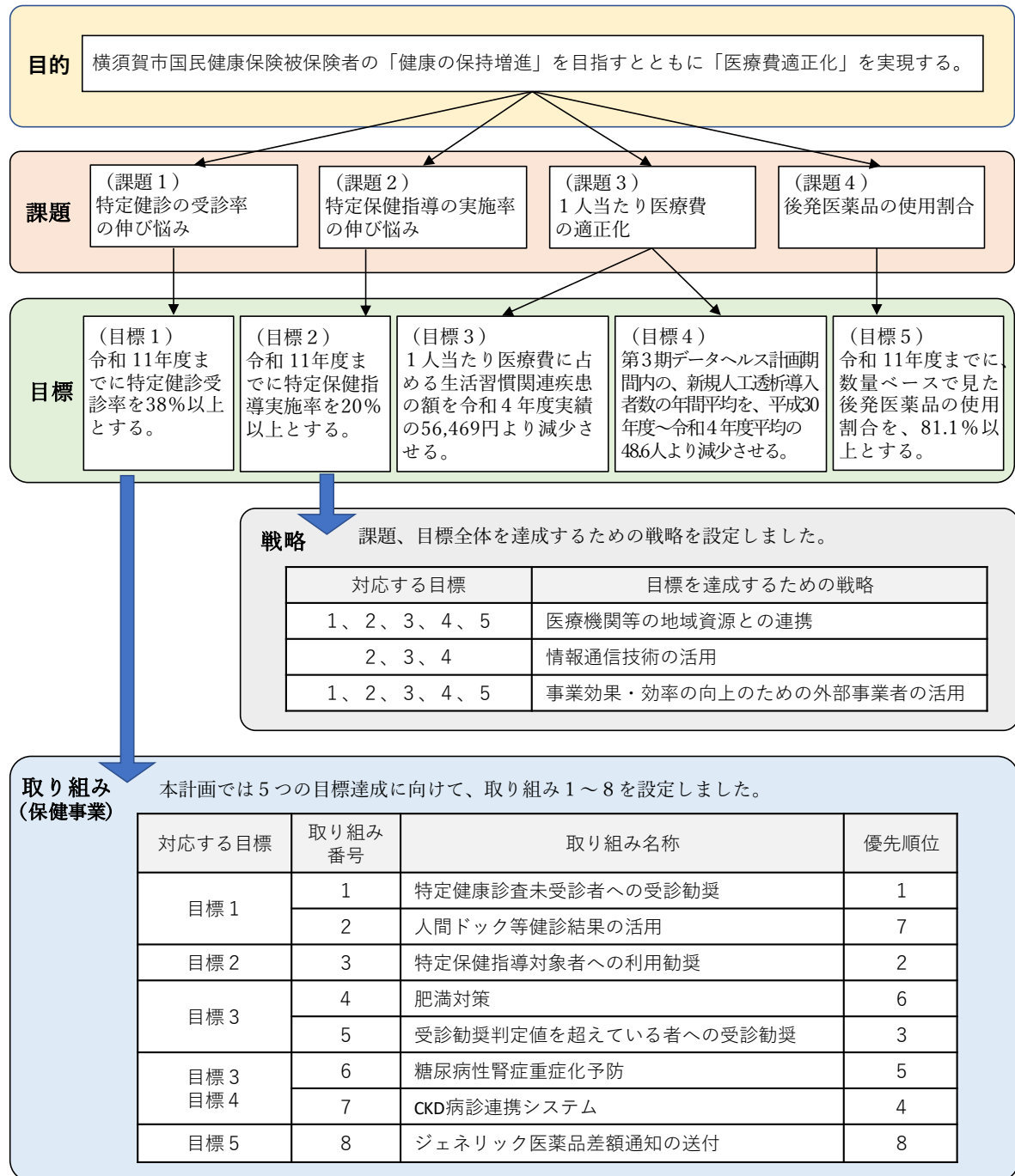
出典：法定報告値

14 第3期データヘルス計画について

(1) 体系について

本市データヘルス計画は、横須賀市国民健康保険被保険者の「健康の保持増進」と「医療費適正化」を目的としています。この目的を達成するために、4つの課題を設定し、その課題に応じた5つの目標を設定しました。そして、目標を達成するために3つの戦略、8つの取り組み（保健事業）を設定しました。

第3期データヘルス計画の体系図



(2) 目標について

目標		令和4年度実績
1	令和11年度までに特定健診受診率を38%以上とする。	28.3%
2	令和11年度までに特定保健指導実施率を20%以上とする。	9.5%
3	1人当たり医療費に占める生活習慣関連疾患の額を令和4年度実績の56,469円より減少させる。	56,469円
4	計画期間内の、新規人工透析導入者数の年間平均を、平成30年度～令和4年度平均の48.6人より減少させる。	48.6人 (※)
5	令和11年度までに、数量ベースで見た後発医薬品の使用割合を、81.1%以上とする。	80.4%

※平成30年度～令和4年度平均

(3) 個別保健事業の一覧

番号	取り組み名	アウトカム			アウトプット		
		指標	実績 (令和4年度)	目標 (令和11年度)	指標	実績 (令和4年度)	目標 (令和11年度)
1	特定健康診査 未受診者への 受診勧奨	特定健診 受診率	28.3%	38%	未受診勧奨電話の 実施率	100%	100%
					未受診通知(SMS 含む)の送付率	100%	100%
2	人間ドック等 健診結果の活用	人間ドック結果の 読み替え件数	396件	500件	対象者への事業案内 送付率	100%	100%
		事業者健診結果の 読み替え件数	86件	100件			
3	特定保健指導 対象者への 利用勧奨	特定保健指導 実施率	9.5%	20%	利用勧奨電話の 実施率	100%	100%
					利用勧奨通知の 送付率	100%	100%
4	肥満対策	メタボリック シンドローム該当率	21.6%	20.0%	対象者への 事業実施率	100%	100%
5	受診勧奨判定値を 超えている者への 受診勧奨	受診勧奨実施者の 医療機関受診率	38.4%※	38.5% 以上	対象者に対する勧奨 通知送付率	100%	100%
6	糖尿病性腎症 重症化予防	プログラム終了時の HbA1c値改善者割合	83.3%	70%以上	対象者への事業案内 発送率	100%	100%
7	CKD病診 連携システム	精密検査 実施率	51.3%	52.5%	紹介基準該当者の 紹介率	100%	100%
8	ジェネリック医薬品 差額通知の送付	数量ベースでの 後発医薬品の 使用割合	80.4%	81.1%	差額通知の 発送回数 (回/年)	3回	3回

※本取り組みは複数年度に渡り事業を展開するため、現時点で最新となる令和3年度実績を記載。